

令和4(2022)年度第3回 総合地球環境学研究所運営会議議事概要

日時: 令和4(2022)年12月26日(月) 13:59~16:40

場所: Zoom 開催/総合地球環境学研究所講演室

出席者: (所外委員)【対面】小林(傳)、篠田、竹中、長尾 【Zoom】浅岡、亀山の各委員
(所内委員)【対面】谷口、陀安、松田の各委員 【Zoom】荘林委員(15:15から参加)
(欠席) 小林(い)、佐藤の各委員
(陪席) 山極所長、島根管理部長

開会・所長挨拶

陀安議長が開会を宣言し、引き続き所長挨拶があった。

新規運営会議委員の紹介

陀安議長から、新規運営会議委員の紹介があり、会議後半に荘林所内委員から挨拶があった。

定足数及び配付資料の確認

定足数(全委員数12名→定足数7名、出席委員9名(地球研参加7名、オンライン2名))及び配付資料の確認が行われた。

議事概要の確認

令和4年度第2回運営会議(10月6日開催)の議事概要が承認された。

報告事項

(1) 研究教育職員等の人事異動について

小林総務課長から、資料2に基づき、報告があった。

(2) 2023(令和5)年度実践FR移行候補採択結果について

山極所長から、資料3-1~2に基づき、報告があった。

(3) 第4期プログラムミッションステートメントについて

松田委員から、資料4-1~5に基づき、報告があった。

(主な意見)

- ・企業との関わりについて、現在、ESG投資など評価にかかる部分もあり、企業側がこれまでになく研究者を見ているので、ぜひ取り組みを検討してほしい。
- ・地球研が行う経験的な研究を俯瞰的に見直し、人文科学的な視点を加えれば、産業界や日本全体にとってプラスになるはずである。
- ・ミッションステートメントには書かれていないグローバルサウスの問題についても意識して取り組んでほしい。

(4) 日本学術会議「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の提案について

山極所長から、資料5-1~2に基づき、報告があった。

(主な意見)

- ・広報室からも相談があり、国立科学博物館での特別展を2026年(令和8年)の秋に行えるよう、サポートしたい。
- ・日本科学未来館でも、提案内容に近い取組みを行っているので、その動きも注目しながら進めると良いのではないか。

(5) 研究活動等の状況について

谷口委員から、資料6に基づき、報告があった。

(6) 第12回同位体環境学シンポジウムについて

陀安議長から、資料7-1~2に基づき、報告があった。

(7) その他 特になし

審議事項

(1) 研究教育職員(プロジェクトリーダー)の選考について

竹中人事委員長及び谷口委員から、資料8-1~3に基づき、説明があり、投票による採決の結果、承認された。

(2) 研究教育職員(プロジェクトリーダー候補者)の人事開始について

谷口委員から、資料3-1に基づき、説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 研究教育職員(教授)の人事開始について

山極所長から、資料9に基づき、説明があり、審議の結果、承認された。

(4) その他 特になし

意見交換

以下の観点などについて意見交換があった。

- ・総研大における学位授与の条件、留学生の受入れや経済的支援等について
- ・光熱費の高騰への対応について
- ・プロジェクトを公募する際のテーマや質の担保、周知等について
- ・地球研にあまり縁がない学会や、地球研コミュニティ外の研究者への研究提案にかかるアナウンスについて
- ・URAの活用について

閉会

陀安議長から、資料10に基づき、令和4年度後半のスケジュールについて説明があった。

最後に山極所長から、閉会の挨拶があった。

以上